

【概要】

分離精製工場のカスクアダプタ等は、使用済燃料の受入れに使用してきましたが、今後使用済燃料の受け入れを行わないこと、使用済燃料の搬出作業にも支障をきたすことから、解体撤去を実施しました。

本作業は、管理区域における放射性物質により汚染された機器の解体であるため、グリーンハウスを設置し、放射線防護具を着用した作業員が実施しました。

作業方法は、作業スペース、作業員の被ばく及び火災リスクの低減等を考慮し、大型で肉厚部分(25 mm以上)はダイヤモンドワイヤーソーを用い遠隔で、肉薄部分(25 mm未満)はチップソーやセーバーソーを用い作業員が直接解体しました。

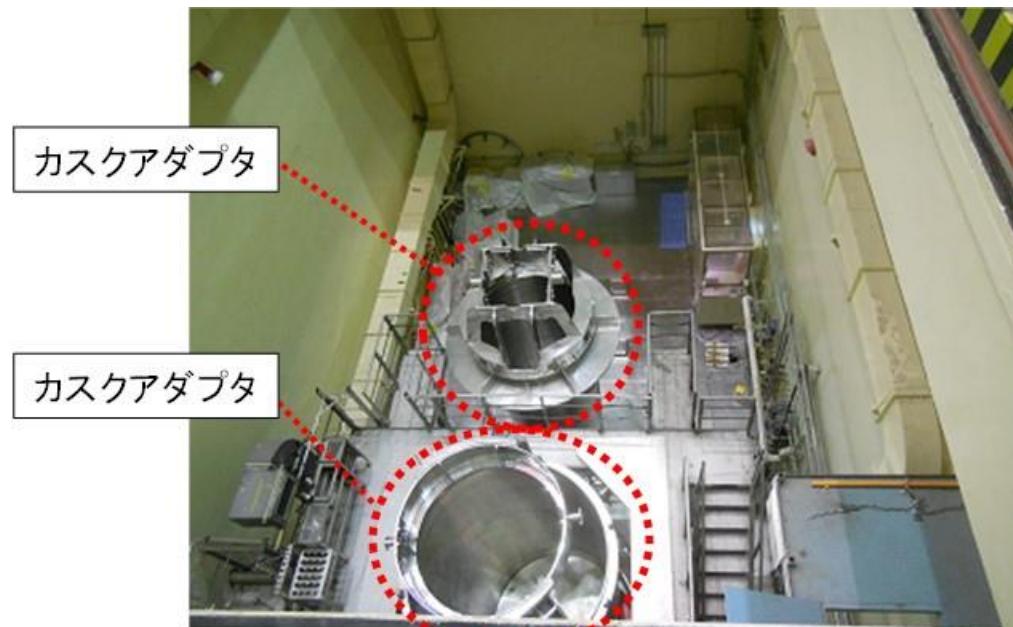
〔作業期間：令和2年10月29日～令和3年3月12日〕



ダイヤモンドワイヤーソーによる遠隔解体



作業員による直接解体



解体撤去工事前



解体撤去工事後